

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
第 1 診察室	午前	松尾晃樹	松尾晃樹	松尾恵輔	松尾晃樹	松尾恵輔
	午後	松尾恵輔			午後休診	松尾恵輔
第 2 診察室	午前	松尾恵輔	春田祐郎	春田祐郎	松尾泰治	松尾晃樹
	午後	春田祐郎 (甲状腺)			午後休診	松尾晃樹
第 3 診察室	午前	清家圭介	清家圭介	平松万尚	宮川美子	小松万寿美
	午後	平松万尚	保田智之 (宮川美子)	平松万尚	午後休診	小松万寿美 ②④ (平松万尚) ①③⑤ (松尾泰治)
第 4 診察室	午前			松尾泰治		春田祐郎
	午後					
内視鏡センター (内視鏡室)	午前	松尾泰治	佐野村洋次	松尾晃樹	松尾恵輔	平松万尚
	午後	平松万尚 松尾泰治	佐野村洋次	宮川美子	午後休診	平松万尚
リハビリ室	午後			関 聡介		

休診日 日・祝日・木曜日午後
 受付時間 午前 8 時 30 分～正午・午後 2 時 30 分～5 時
 (木曜日は午後休診です。)
 診察予約 診察の予約を受け付けています。
 (平日 午前 8 時 30 分～午後 4 時 30 分まで)
 平日予約専用電話 (フリーダイヤル) 0120-33-5638 も
 ご利用ください。



当院は、(財)日本医療機能評価機構の認定病院です。

(機能種別版評価項目 3rdG: Ver.1.0)
 (認定期間: 2014/3/7 ~ 2019/3/6)

- 交通のご案内…JR 三原駅・三原港から徒歩 5 分 JR 三原駅-三原港経由無料シャトルバスを運行中。詳しくは受付にお尋ね下さい。
- 駐車場 35 台完備



松尾内科病院広報誌
 平成30(2018)年1月号

医療法人 杏仁会
松尾内科病院

〒723-0014 広島県三原市城町三丁目7-1
 TEL(0848)63-5088 FAX(0848)63-0658
<http://www.mihara-matuohp.or.jp>

- 新年年頭挨拶…………… 1
- 新年年頭挨拶…………… 2
- リハビリ科紹介・名誉院長講演…………… 3
- 外来診療のご案内…………… 4

新年年頭挨拶



医療法人 杏仁会 理事長
 松尾内科病院 院長

松尾 晃樹

新年明けましておめでとうございます。
 また地域の皆様には、日頃よりご支援とご協力を頂き、感謝いたします。
 昨年 7 月に理事長、院長に就任し、慣れない業務を多くの職員の支えとともに行っております。振り返ると、医療と介護、地域連携の重要性を強く認識する年でした。現在、日本は医療・介護で多くの問題を抱えています。日本の高齢化率 30% と超え、2025 年問題に対し制度改革が行われようとしています。私達は内科専門病院として「きらりと光る、特長ある病院」として、地域との密接な連携のもと多くの人々の「安心」「安全」「幸福」をめざして、連携してゆきたいと思っております。今年もよろしくお願いいたします。

医療法人 杏仁会の理念

医療法人杏仁会は、愛と勇気と英知を持って、地域のみなさまに信頼される質のよい医療と介護を提供し、地域社会の一員として責任をはたし貢献します。

- 1 誠実な医療と介護福祉を行います。
- 2 確実な知識と技術を大切にします。
- 3 堅実な経営を行います。

松尾内科病院の基本方針

- 1 私達は、患者さんの権利を尊重し、信頼と満足が得られる医療サービスを提供します。
- 2 私達は、内科専門病院として、地域との密接な連携を保ち、科学的で、質の高い医療サービスを提供します。
- 3 私達は、安心・安全かつ効率的で公正な医療を行います。
- 4 私達は、情報を開示し、説明と同意に基づく医療を行います。
- 5 私達は、確実な知識と技術の向上を図り、人材の育成・確保に努めます。
- 6 私達は、健全な経営を行い、安心して働ける職場をつくります。



くらしに密着した総合地域医療をめざして

新しい年の幕明け ～在宅へつなげる看護を目指して～



医療法人 杏仁会
松尾内科病院 看護部長
池庄司 和子

新年、あけましておめでとうございます。
謹んで、新年のお慶びを申し上げます。

多様な世界で混沌とした社会世相のなか、穏やかな
瀬戸内の海と空のもと、元気に新年を祝うことが出来

ることに感謝しております。

ところで、今盛んに議論されている「2018年診療報酬と介護報酬改定」では、医療が病院中心から在宅へ大きくシフトし、評価される方向で動いております。当院でも、①安全・安心な診療・ケア（リスク管理）②入退院支援の強化と外来機能の充実に取り組んでおります。病院の未来に「夢」を。そして、看護のプロとして「心・技・体」の3拍子と「感謝の心」を忘れない管理者でありたいと思っております。「一怒一老、一笑一少」という言葉があります。一度怒れば1つ老い、一度笑えば1つ若返るという意味があるそうです。時に自分自身への戒めにしております。

より地域包括ケアが求められる中、皆様と共に、笑顔で明るい年になりますことを願って、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成30年 年頭の挨拶



医療法人 杏仁会
松尾内科病院 事務長
小浦 賢治

あけましておめでとうございます。今年、平成30年はどんな年になるのでしょうか。60年前の1958年（昭和33年）には、関門トンネル開通・新1万円札（聖徳太子）発行・国民健康保険法公布の出来事があったそうです。

今年は、診療報酬と介護報酬のダブル改定の年にあたります。財務省が示す平成30年診療報酬改定の考

え方は、「医療機関の地域連携強化に向けたこれまでの診療報酬改定内容を検証するとともに、地域医療構想の実現に資するよう病床の機能分化・連携をさらに後押しするため、患者の状態像に即した適切な医療・介護を提供する観点から、報酬水準、算定要件など入院基本料のあり方や介護医療院の介護報酬・施設基準のあり方について検討し、介護施設や在宅医療等への転換などの対応を進める。」と閣議決定されています。

さて、平成30年は干支では、戊戌（つちのえいぬ）の年です。戌（つちのえ）は「茂が語源で、草木が繁盛して盛大になること」、戌（いぬ）は「切るという意味で、草木が枯死すること」、枯れるという側面と生い茂るという側面があるそうです。これは、変化する年、明暗の分かれる年になると占えるそうです。よって、今年のみなさん、勇気をもって変化に対応し、成果を期待する年にしましょう。私は、今年60歳になります。知力・体力・気力とも衰えを感じますが、変化に対応できるよう頑張りたいと思います。

リハビリテーション科紹介

～多職種連携について～

昨今は、患者さんの治療やケアを行ううえで、多職種連携は必然的なものではないでしょうか。リハビリテーション科のスタッフと看護部の連携もそのひとつといえます。リハビリテーション科の理学療法士による歩行や動作についての情報提供、作業療法士による食事やトイレなどの日常生活動作についての進捗状況の伝達、言語聴覚士による嚥下指導の結果報告、そして、それらと看護師や看護補助者との日々の状態についての情報交換を行うことで、患者さんの状態をリアルタイムで把握して、できるだけ早い対応を行うように、日々心がけております。

その中でも、ポジショニングに関する連携は長期間にわたり、多くのスタッフがかかわってきたことの一つです。当院は長期臥床状態にある患者さんが多く、拘縮や褥瘡への対応は以前からのテーマでした。そこで、リハビリテーション科ではポジショニングチームを立ち上げました。最初は、クッションの入れ方や体位変換の実際など、現状の把握からはじめました。担当看護師に状況について確認をし



て、カンファレンスを行い、時間を置いてラウンドをして患者さんの状態を確認するといった取り組みを行ってきました。

また、ポジショニングクッションの業者を当院に招いて、研修会やクッションの体験会を行い、外部で行われる研修会にも意欲的に出席し、さらに、ポジショニングの取り組みについて学会や論文で報告を行うなど、最新の情報を取り入れ、それを公表するという活動にも意欲的に取り組んでいます。

これから、後期高齢者がさらに多くなることが予想されます。ポジショニングの知識も含めて、幅広く、最新の知見を得ることは私たち医療者にとって必要不可欠なことでしょう。それらを多職種で共有しながら、より深めていけるように、これからも努めていきたいと思っております。

平成29年11月10日

講演会活動「たばこと癌」

三原ロータリークラブ 癌予防推進委員
松尾内科病院 松尾恵輔名誉院長
三原市立第二中学校にて講演を行いました。



平成29年12月13日

業務改善事例発表会 各部署におけるQC活動への取り組み

特に評価の高かった部署には松尾恵輔名誉院長より表彰が行われました。

